

女のからだと天皇制

墮胎罪と「不良な子孫」の出生防止

「女のからだと天皇制」というと、皇后雅子を思い出す人も多いかもしれません。外務省職員のキャリアを捨てた彼女は、子を孕み、男子を産むことを期待されました。それが皇室に「嫁いだ」女の役割であり、男子による「血の継続」を定める皇室典範は、異性愛や家父長制のモデルとして私たちにも影響しています。

一方、生殖機能を奪うために、国家によって身体を傷つけられた人たちがいます。障害や病気、困難を抱えた人たちに「不良な子孫」とレッテルを貼り、不妊化を強制・強要し「出生を防止」した優生保護法です。その背後には、妊娠したら女は産むべきとして中絶を禁止する刑法墮胎罪が存在しています。

天皇制が体现する差別や人権侵害を、女のからだから考えてみましょう。

日時：2024年4月29日(月・休) 14:00~16:30

お話し：大橋 由香子さん

会場：wam オープンスペース(定員40名/予約・先着順)

参加費：1000円



*オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(2週間)になります。

お申し込みは左記二次元コードから Google フォームで。wam 事務局にメールをくだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。



【ゲスト紹介】 おおはし・ゆかこ

フリーライター・編集者。著書に『生命科学者 中村桂子』(理論社)、『満心愛の人—フィリピン引き揚げ孤児と育ての親』(インパクト出版会)、共編著『福島原発事故と女たち』(梨の木舎)ほか。「避妊・中絶への自己決定権を求めて」『世界』2023年4月号など執筆。光文社古典新訳文庫 HP で「字幕マジックの女たち:映像×多言語×翻訳」を、エトセトラウェブマガジンで「あの本がつなぐフェミニズム」連載中。

「SOSHIREN 女(わたし)のからだから(旧 82 優生保護法改悪阻止連絡会)」「優生手術に対する謝罪を求める会」「女性と天皇制研究会」メンバー。

主催:アクティブ・ミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」(wam)
東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACOビル 2F 〒169-0051
t 03-3202-4633 f 03-3202-4634 wam@wam-peace.org

wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年の節目にあたって、2020年9月から天皇由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第1回 2020年11月3日

テーマ：叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を結ぶもの—「明治節」に考える—
お 話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第2回 2021年2月11日

テーマ：桜の国の悲しみ、菊の国への抗い—「紀元節」に伝えておきたいこと
お 話：石川逸子さん(詩人)

第3回 2021年2月23日

テーマ：「歌会始」が強化する天皇制—序列化される文芸・文化
お 話：内野光子さん(歌人)

第4回 2021年4月29日

テーマ：「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任～近年の研究成果から学ぶ
お 話：山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

第5回 2021年11月3日

テーマ：近代天皇と家族の表象
お 話：北原恵さん(大阪大学元教員)

第6回 2022年2月11日

テーマ：近代天皇制がつくってきた差別—水平社宣言から100年を機に考える
お 話：黒川みどりさん(静岡大学教員)

第7回 2022年4月29日

テーマ：天皇と戸籍
お 話：遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席研究員)

第8回 2022年11月3日

テーマ：撃ちてしまわむ！
お 話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第9回 2023年2月11日

テーマ：天皇制と仏教
お 話：源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第10回 2023年4月29日

テーマ：植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪(準備編)
映画上映：『あんによん・サヨナラ』(監督：金兌鎰、共同監督：加藤久美子/2005年/107分)
アフタートーク：南相九さん(東北アジア歴史財団研究政策室長)

第11回 2023年5月25日

テーマ：植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪
お 話：李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進協議会代表)

第12回 2023年11月3日

テーマ：日本の近現代史からみる 天皇制と勲章
お 話：栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

第13回 2024年2月11日

テーマ：「国民」が支える象徴天皇制—なぜ天皇制に終止符が打てないのか
お 話：伊藤晃さん(千葉工業大学元教員)

会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円 ●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。
維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「わたらの戦争と平和人権基金」係

wam

アクティブ・ミュージアム

わたらの戦争と平和資料館
women's active museum on war and peace

開館時間：金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため開館

休館日：火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料：18歳以上 500円
18歳未満 300円
小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org
URL:https://wam-peace.org Twitter:@wam_peace

